

委員報告

予算決算審査 特別委員会

令和2年12月10日に委員会を開催し、付託された議案について関係部課長から細部にわたり内容の説明を求め、慎重に審議の結果、本委員会としては、全議案を原案のとおり可決すべきものとして決定しました。

議案第79号

令和2年度御前崎市一般会計予算の補正(第6号)について

議案第80号

令和2年度御前崎市国民健康保険特別会計予算の補正(第3号)について

議案第81号

令和2年度御前崎市後期高齢者医療保険特別会計予算の補正(第1号)について

原子力対策 特別委員会

令和2年12月14日に委員会を開催し、資源エネルギー庁原子力立地政策室および中部電力(株)より報告を受けました。

〔エネルギー政策の動向について〕

資源エネルギー庁

①エネルギー政策上の課題「3E+Sの実現について」

安全性(S)が大前提であり、更に自給率・経済効率性・温室効果ガス排出量の削減(3E)の同時実現を果たします。

②エネルギー基本計画における原子力の位置付けと海外の動向について

2030年のエネルギーミックスにおける電源構成比率で原子力は20〜22%の実現を目指し、必要な対応を着実に進めることとし、海外では米・仏・露・中の各国が原子力利用を拡大させています。

③核燃料サイクル・最終処分について

高レベル放射性廃棄物の減容化・有害度低減化等の観点から

使用済燃料を再処理し、回収されるプルトニウム等を燃料として活用することで資源を再利用します。

最終処分については、長半減期の放射性物質を含む廃液はガラス原料と高温で溶かし合わせて固化し地層処分します。地層処分地は科学特性マップで示した適地の中から、北海道の2か所で文献調査を実施しています。

④福島復興の取り組みについて
30〜40年後の廃止措置完了を目指し国も前面に立ち、東京電力自らが責任をもって対策を行っています。

〔浜岡原子力発電所の状況について〕

①新規制基準適合性確認審査の各社の状況

全国に36基ある原子力発電所のうち、許可済が16基(内9基が再稼働、7基が未稼働)、11基が審査中、9基が未申請となっています。浜岡原子力発電所は4号機が地震津波の審査を受けています。

②燃料サイクルにおける浜岡原子力発電所の状況

各原子炉建屋には燃料プール

があり、3号機〜5号機の建屋内プールに合計6542体(保管可能量の89%)の使用済燃料が保管してあります。また、再処理工場に搬出するまでの間保管する使用済燃料乾式貯蔵施設の安全性審査も行われています。

③地域とのコミュニケーション

地域の皆様との対話や情報発信する機会として、2020年度は意見交換会や発電所キャラバンの実施、新聞折り込みチラシなどを使っている情報発信も行っています。

総合開発計画策定 特別委員会

令和2年12月14日に委員会を開催し、執行部から説明及び報告を受けました。

◎協議事項

(1)第2次御前崎市総合計画(実施計画書)について

はじめに令和3年度から令和5年度までの財政見込みの説明があり、市税は減少傾向、地方交付税は増加傾向で歳入見込みをしてお